

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑地保全事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	荒川 功	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 46 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市有山林等の良好な維持管理及び有効活用を図る。 ・保存樹林・保存樹木・保存生垣(以下「保存樹木等」という。)の指定による緑の保全 ・憩いの森の維持管理 ・市有山林、緑地、特別緑地保全地区の維持管理 ・みどり保全審議会の開催 ・藤沢市みどり保全協働事業の実施						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例, 藤沢市緑の保全奨励金交付規則						
事業実施内容	・保存樹木等の指定及び解除, 並びに奨励金等による助成制度を執行する。 ・憩いの森の賃貸借契約を締結するとともに, 憩いの森内での剪定, 伐採及び下草刈りを行う。 ・藤沢市所有緑地内での剪定, 伐採及び下草刈りを行う。 ・藤沢市みどり保全審議会を開催し, 緑の保全及び緑化の推進に関する施策について必要な事項を調査審議する。 ・市民団体との協働により, 市有緑地内の活動, 普及啓発及び環境調査等を行う。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: (有)山龍造園土木興業, (有)神谷造園 他) (委託等内容: 善行地区下草刈り及び樹木剪定業務委託, 大庭地区下草刈り及び樹木剪定業務委託 他) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: (特定非営利活動法人)藤沢グリーンスタッフの会 他) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 109,453 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	35,868 千円	保存樹木等奨励金
		役務費	17,483 千円	危険木等伐倒手数料等
		委託料	47,173 千円	市有山林等下草刈業務委託等
		使用料及び賃借料	1,154 千円	憩いの森賃貸料等
		その他	7,775 千円	報酬, 旅費, 需用費, 負担金補助及び交付金
財源内訳	H30年度 支出済額 109,453 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	2 千円	
		国庫支出金		
		県支出金	386 千円	
		その他 (みどり基金繰入金, トラストみどり財団樹 木保全事業助成費)	12,580 千円	
		一般財源	96,485 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	2.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.80

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	147,130	118,891	116,131	138,385			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	140,064	118,696	116,375	136,028			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	120,970	99,405	97,042	109,453			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	19,094	19,291	19,333	26,575			
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.80 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	18,080	18,202	18,438	25,308			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,014	1,089	895	1,267			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	7,066	195	-244	2,357			
	①減価償却費	259	259	259	464			
	②退職給与引当金繰入額	6,807	-64	-503	1,893			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	349.79	420,619	279.67	425,105	271.65	427,501	322.34	429,317

成果実績	指標名	—	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績	—	実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が維持管理費のため、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—		—	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	事業開始から40年以上が経過し，指定樹木の老朽化等も見受けられる。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後は良好な樹木等の確保に配慮し，所有者に対する奨励金の増額など，優遇措置や差別化などの可能性について検討する。また，他市の状況と比較し，指定条件や奨励金の算定基準などの見直しの必要性を検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市有緑地の適正な維持管理を実施するとともに，市民が所有する保存樹木等の指定や憩いの森の指定など民有緑地の保全が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	今後も市有緑地の良好な維持管理を実施するため，森林環境譲与税等の充当も視野に入れながら，生物多様性に寄与した質の高い緑地の管理を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	市有山林（公園緑地以外の緑地を含む。）の維持管理に関すること	無	無	1	
6	市有山林（公園緑地以外の緑地を含む。）の維持管理に関すること（協働事業に関すること）	無	無	1	1
7	市有山林台帳の整備及び管理に関すること	無	無	1	
8	市有山林等の境界確定及び土地境界証明書の交付	無	無	1	
9	特別緑地保全地区の指定に関すること	無	無	1	3
12	憩いの森の契約に関すること	無	無	1	1
13	憩いの森の賃貸借料の支払いに関すること	無	無	1	1
14	憩いの森の維持管理に関すること	無	無	1	
15	保存樹木等の指定及び解除等に関すること	無	有	1	
16	緑の保全奨励金に関すること	無	有	1	
17	みどり保全審議会の事務局	無	無	1	2
18	松くい虫防除事業の実施及び補助申請手続きに関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	みどりいっぱい推進事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	荒川 功	電話	4352

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 57 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	みどり豊かな潤いのあるまちづくりを目指して、普及啓発活動を行い、緑化の推進を図る。 ・公共施設等花壇草花植付業務 ・ポスターコンクール等の開催 ・緑と花いっぱい推進の集い開催 ・緑の基本計画及び緑の実施計画の取組						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例						
事業実施内容	・公共施設等花壇草花植付業務(市民会館他18カ所)の実施 ・植栽管理業務委託(藤沢駅南口他10カ所)の実施 ・ポスターコンクール, 学校花だんコンクール, 標語コンクール等の実施 ・第37回藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの開催(11月実施), グリーンキャンペーンの開催(10月実施)						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: (有)山龍造園土木興業 他) (委託内容: 公共施設等花壇草花植付業務 他) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会 他) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 12,507 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	167 千円	コンクール等賞品
		需用費	830 千円	学校花だん用品, 事務用品等
		委託料	6,365 千円	公共施設等花壇草花植付業務委託等
財源内訳	H30年度 支出済額 12,507 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他(みどり基金繰入金)	2,451 千円	
		一般財源	10,056 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	1.00
合計	2.60

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	35,580	28,507	27,220	27,753
	(1)現金を伴う支出(千円)	30,134	28,559	27,622	27,925
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,092	11,182	10,212	10,563
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	20,042	17,377	17,410	17,362
	職員数(常勤 非常勤)	2.10 1.00	1.60 1.00	1.60 1.00	1.60 1.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	17,286	14,562	14,750	14,667
	②報酬合計(非常勤)	1,944	1,944	1,944	1,944
	③退職金相当額	812	871	716	751
	(2)現金を伴わない支出(千円)	5,446	-52	-402	-172
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	5,446	-52	-402	-172
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	84.59 420,619	67.06 425,105	63.67 427,501	64.64 429,317	

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	長久保都市緑化植物園運営費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	荒川 功	電話	4353

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民に憩いの場を提供するとともに、都市の緑化推進の拠点としてみどりの相談、講習会、展示会等を開催し、緑化意識の普及啓発に努める。						
対象	1. 個人	市民				429,317	人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市都市公園条例, 長久保公園都市緑化植物園管理規則						
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> みどりに関する各種講習会, 展示会, 春のみどりと花のまつりの開催 市民に向けた苗木配布の実施 指定管理者による市民との協働や市内の緑化団体等と連携した管理・運営 						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者: (公財) 藤沢市まちづくり協会) (委託等内容: 藤沢市長久保公園(長久保公園都市緑化植物園)の管理運営等) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ():						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 69,601 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	69,601 千円	指定管理料
財源内訳	H30年度 支出済額 69,601 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
一般財源	69,601 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	73,336	75,628	74,718	75,318			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	71,975	74,966	74,869	75,383			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	68,156	69,178	69,069	69,601			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	3,819	5,788	5,800	5,782			
	職員数(常勤 非常勤)	0.40 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	3,616	5,461	5,531	5,500			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	203	327	269	282			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,361	662	-151	-65			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,361	662	-151	-65			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	174.35	420,619	177.90	425,105	174.78	427,501	175.44	429,317

成果実績	指標名	市民との協働事業参加人数	目標	-	単位	-	単位	1,400	単位	1,430	単位
			実績	1,357	単位	1,377	単位	1,618	単位	1,592	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		平成29年度に「ふじさわ緑の実施計画(第2期計画)」の目標設定にあわせて指標名を変更した。平成27・28年度は別の指標名のため、目標を設定できない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		54,042.74		54,922.29		46,179.23		47,310.30			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	開園から約30年が経過し, 老朽化した園内施設の修繕が必要である。また, 緑化講習会により多くの市民が参加できるよう, 研修室やエレベーターといった設備の充実が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	指定管理者や公園管理者と調整のうえ, 公園施設長寿命化計画に沿って計画的に園内樹木や事務所等施設の整備・修繕を行う。また, 引き続き, 市民の憩いの場やみどりの普及の場として公園を利用できるように園内の安全管理の徹底を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	指定管理者である(公財)藤沢市まちづくり協会は, 人材や組織育成に関する能力と実績, 緑の基本計画に掲げる各種施策の多くを担うことによる事業効果の向上, 新規施策への対応等において評価を受けており, 各緑化団体から強い信頼を得ている。そのことを本事業に活かしたことにより, 各種事業において多くの市民が参加した結果, 長久保公園が緑化推進の拠点として大いに活用された。
今後の方針	<p>事業の方向性 現状維持</p> <p>長久保公園は「藤沢市緑の基本計画」において「緑をひろめる」「緑とくらす」ための拠点として位置付けられ, 今後は「生物多様性の向上」という「緑をつなぐ」ための拠点として新たな市の施策の展開が期待されることから, 引き続き, 指定管理者と協議し, 事業実施に努めることとする。また, 市民及び市民団体との協働についても, 良好な関係の維持に努める。</p>

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
28	指定管理者の運営指導に関すること	無	無	3	2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑地新設事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	05	課等の長	荒川 功	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	市内に残された貴重な緑地としての石川丸山谷戸(石川丸山緑地)及び川名清水谷戸(川名緑地)等の主要な緑地等の保全を行う。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	都市緑地法, 神奈川県里地里山の保全, 再生及び活用の促進に関する条例															
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 「里地里山緑地保全計画」で計画されている石川丸山地区の都市計画決定手続きを進めるための測量 神奈川県里地里山の保全, 再生及び活用の促進に関する条例に基づく活動団体への支援の実施 石川丸山緑地内の施設(スロープ)修繕 川名緑地保全事業用地の取得 																
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: (有)湘英測量) (委託等内容: 石川丸山地区の座標変換等測量) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金: 石川丸山ホテル保存会) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 29,367 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	678 千円	緑地内の施設修繕
		役員費	562 千円	用地購入に伴う不動産鑑定
		委託料	3,810 千円	座標変換等測量委託
		公有財産購入費	24,120 千円	川名緑地用地購入
		負担金及び交付金	197 千円	ホテル保存会への活動補助
財源内訳	H30年度 支出済額 29,367 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	197 千円	
		その他(みどり基金繰入金)	29,170 千円	
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	1.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	10,399	24,407	22,574	41,047			
	(1)現金を伴う支出(千円)	11,324	23,428	22,901	41,488			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,777	10,889	10,334	29,367			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	12,539	12,567	12,121			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.30	1.30 0.20	1.30 0.00	1.30 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	11,831	11,985	11,558			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	708	582	563			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	-925	979	-327	-441			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-925	979	-327	-441			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	24.72	420,619	57.41	425,105	52.80	427,501	95.61	429,317

成果実績	指標名		目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
			実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		現況を保全する事業であることから、指標の設定ができない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—		—

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	川名緑地については市街化区域内緑地であるため、開発行為等による土地利用の進行の危険性があることから、引き続き、用地取得を進めることが必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	予算措置を勘案しながら、特に土地利用が進行しやすい縁辺部から用地取得を進めることを検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	川名緑地については、用地の売買等の可能性が高まる相続に伴う用地取得を中心に進めていることから、一定の効果があげられた。石川丸山緑地については、都市計画決定に向けた丁寧な説明を行ったものの、一部の権利者から理解を得ることができなかった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	川名緑地については、約2/3の用地取得が完了し、引続き用地取得に努める。 石川丸山緑地については、都市計画決定に向けた権利者への説明を引続き行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関する事	無	無	1	
9	特別緑地保全地区の指定に関する事	無	無	1	3
35	里地里山保全等地域の指定及び支援に関する事	無	無	1	1
36	緑地の取得に関する事	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	みどり基金積立金										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	荒川 功	電話	4352

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 60 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市みどり基金の積立						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市みどり基金条例					
事業実施内容	市民等からの寄付金の積立, 基金運用益の積立及び一般会計(ゴミ指定袋売払手数料)からの繰入等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(:)
	<input type="checkbox"/>	(:)
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(:)
	<input type="checkbox"/> その他	(:)

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 72,853 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		積立金	72,678 千円	寄付金の積立及び一般会計からの繰入
		積立利子	175 千円	基金運用益の積立
財源内訳	H30年度 支出済額 72,853 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他(みどり基金利子収入, 寄付金)	5,720 千円	
一般財源	67,133 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	68,780	71,294	71,885	74,758			
	(1)現金を伴う支出(千円)	68,099	71,301	71,935	74,780			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	66,190	69,372	70,001	72,853			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	1,934	1,927			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	1,844	1,833			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	109	90	94			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	681	-7	-50	-22			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	-50	-22			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	163.52	420,619	167.71	425,105	168.15	427,501	174.13	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			寄付金のため指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	毎年の積立額は増加しているものの有料ごみ指定袋売払手数料による歳入が主であり, みどり基金条例に定める積立額50億円には至っていないことから今後も一層の適正な運用を図ることが課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後予定している三大谷戸等での緑地取得においては, 国・県の補助金の活用を検討し, 基金の適正な運用を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	平成25年度以降, 基金の積立額は取崩額を上回り, 年度末残高を増やすことができている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後予定している三大谷戸等での緑地取得において, 基金が必要となるため, 国・県の補助金の確保や一層の積立及び適正な運用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
37	寄附金, 収益金及び市の資金の積立	無	無		3
38	寄附金, 収益金及び市の資金の振替	無	無		3
39	基金の処分	無	無		3
40	緑化普及啓発に関すること	無	無	1	
41	公金(その他証明閲覧手数料)の取り扱いに関すること	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑地改修事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	荒川 功	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	平成 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市が所有する緑地や山林の法面の安全性の確認と、法面崩壊による災害を防ぐための対策を行う。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律					
事業実施内容	片瀬山五丁目緑地, 川名緑地(その2)の法面防護工事に関する設計委託						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)共和技術コンサルタンツ 他)						
	(委託内容 : 法面防護工事に係る詳細設計 他)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 9,337 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		委託料	9,337 千円	法面実施設計委託, 法面予備設計委託											
財源内訳	H30年度 支出済額 9,337 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	1.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.50
			平成30年度												
		正規職員等	1.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	1.50												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他(地方債)	3,500 千円														
一般財源	5,837 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	110,371	202,187	173,306	23,630			
	(1)現金を伴う支出(千円)	107,689	200,534	173,683	23,792			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	98,142	186,065	159,183	9,337			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,547	14,469	14,500	14,455			
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	9,040	13,652	13,829	13,751			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	507	817	671	704			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	2,682	1,653	-377	-162			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,682	1,653	-377	-162			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	262.40	420,619	475.62	425,105	405.39	427,501	55.04	429,317

成果実績	指標名	法面対策完了箇所数	目標	0	単位 箇所	1	単位 箇所	1	単位 箇所	0	単位 箇所
			実績	0	単位 箇所	1	単位 箇所	1	単位 箇所	0	単位 箇所
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	202,187,000.00	173,306,000.00	-					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	平成26年度に法面対策事業の計画を策定し，対策を順次行ってきた。策定から4年が経過し，宅地開発が進み，市有山林の斜面下部に家屋が建設された箇所もあり，計画を見直す必要が生じている。
(2)	(1)解決のための今後の取組	現状把握を行い，状況に応じて全体計画を精査しながら，事業の進捗管理を行うこととする。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市有山林について設計業務を実施し，対策工事の実施に向けた進捗管理を行い，安全の向上に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	急傾斜地に隣接する住民の安全安心の確保に向けて，適正にスケジュールを管理し，対策工事を実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関すること	無	無	1	
48	工事及び委託の発注に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------